



御入学、御入園のお子さん、おめでとうございます。子供たちは新しい世界へのわくわく感が山盛りでも、親御さんはときどき感が一杯かも？そこは「可愛い子には旅をさせよ」の気持ちで。親の方が先回りして心配しすぎると、子供たちも不安になってしまい、楽しめなくなってしまうこともあります。

そして、私が子供の頃、とてもときどきしたのは、クラスがえと担任の先生がえ！！あの子と離れ離れになったらやだな、、今度はどんな先生だろ（先生受けが悪い子だったので）？と。

入学より進級の方が、既にある程度知っている環境だけに、心配もなおさらかもしれません。でも、ちょっと不安だけど色々な人達と関わって、色々な体験をしていくことが、成長していく上で大切だと思います。親御さんは、お子さんの不安な気持ちをくみ取ってあげて、時にはちょこっとアドバイスで温かく見守っていきましょう。くれぐれも「〇年生になったんだから～」コメントは控えめに♪を心がけていきましょう。ついつい言ってしまいますが、、(^_^)

～受付事務より～

- ・平成28年4月診療報酬改定により窓口負担金が変わりました。変更点につきましては、明細書をご確認いただくか受付までお尋ねください。
- ・乳幼児医療証(まる乳)から義務教育就学児医療証(まる子)に変わられた方、お手元に医療証はございますか？受診の際に新しい医療証がなければ3割負担でお支払いしていただき、後日返金手続きが必要となります。お住いの市区町村にご確認をお願いいたします。ご不明点などありましたら受付までお声掛け下さい。

～予防接種について～

予防接種の問診票が市から送られてきたら、早めに接種しましょう。

後回しにしておくと、気付いたら、公費でできる年齢を過ぎていた！ということになりかねません。

また、ほとんどの予防接種は、公費でできる年齢を過ぎた＝しなくてよいということではありません。自費で接種になってしまっても、接種しましょう。

～感染症情報～ 流行している感染症をお知らせします

春休みは、集団生活が減るので流行は落ち着く時期です。

- ・インフルエンザ・・・だいぶ減りました

3月に流行していたB型はだいぶ減ってきました。が、まだ少しみられます。

・おたふく(流行性耳下腺炎)・・・増えています

耳下腺(耳の前にある)や顎下腺(顎の下にある)が腫れて、痛くなります。軽いと、押すと少し痛い程度のこともあります。

高熱にならず、微熱のことが多いです。

合併症としてやや頻度が多い髄膜炎の場合は、高熱、頭痛、嘔吐の症状を伴います。



口や耳の中の診察は短い時間で終わらせよう!

口や耳の診察をうける時に「子どもを押さえつけるのはかわいそう・・・」と感じてしまうかもしれません。

ただ、泣いて暴れてしまうとそれだけ診察に時間がかかってしまいます。

できるだけ短い時間で、安全に、診察するためには子どもの体をきちんと固定することも必要です。

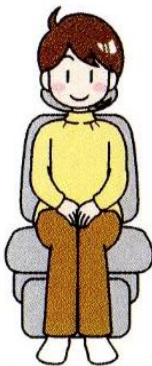
さらに、

上半身のお洋服は脱いでいただき、お母さんの腰についている抱っこ紐を外していただくと固定がさらに安定します。

下記の絵を参考にして、ご協力いただくと助かります。よろしくお願いいたします。

子どもの体を固定する手順

1



まずは保護者が椅子に座ります。

2



椅子に座った保護者の**太ももの間**に子どもを座らせます。

3



子どもの**下半身**を固定しましょう。
子どもの足を保護者の足で両側からはさみ、**両足をクロス**して押さえます。

4



子どもの**上半身**を固定しましょう。
子どもを抱きしめるように、**子どもの胸のあたり**で、
保護者の**腕を交差**させ体を引き寄せます。
子どもの**胸が浮き上がらない**ように両腕でしっかりと上半身を抱きしめましょう。
※頭部はスタッフが固定します。